

清原地区 満美穴町自治会

「地域の歴史と文化を活かして」

●加入世帯数：26世帯

●加入率：100%

活動内容

元来、満美穴町は大字板戸に属していたが、長和元年（1012年）8月の鬼怒川大洪水の為、土地欠壊家居流失して居住不能になり、現在の地に移住し、刈沼新田村（年代不詳）と称してきました。明治43年12月28日満美穴と改称され現在に至っています。

地域文化財に、薬師堂、十九夜堂があり、鷓鴣草神社と共に長い信仰と伝統を持つ満美穴町には、象徴的宗教施設があります。

公民館活動として、毎年12月にそば祭りを実施し、地域の方々が公民館に集合し、“和気あいあい”と町の交流を図っています。また、毎月19日（4月を除く）に十九夜様（念仏）とはつらつ教室（ゆうゆう満美穴）を開

催し、親睦を深めています。その他、ごみ減量のため、平成14年11月から毎月第2土曜日に資源化活動に積極的に取り組んでいます。

加入率を維持する秘訣

清原地区自治会連合会の中で、戸数26戸という最小の自治会において、戸数が減少することは、会を運営するにあたり非常に問題があります。全ての活動において、各自が協力と思いやりの心を持って何事にも取り組んでいることが、加入率100%を維持できている秘訣だと思います。

